

整理番号
144

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	文化振興事業				担当課	生涯学習課
業務名	-				担当係	歴史文化まちづくり係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	歴史・文化財・芸術文化			事業区分	直営
主な取組	1	文化団体の活動支援			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	10	5	2	文化振興事業	

目的と方針【PLAN】
心豊かな市民生活の実現と貴重な地域の歴史文化を活かしたまちづくりに向け、市民主体の芸術文化活動の活発化の促進、有形・無形の文化財の保存・活用を図ります。

事業概要【PLAN】
市民の文化意識の高揚を目指し「伊達市文化団体連絡協議会」をはじめとした各種文化団体の活動支援を行います。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	文化活動に参加する市民及び団体維持及び活動の活性化
-----------------	----	-----------------	---------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
芸術文化に触れる機会の創出

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,480	1,484	1,396	1,530		
	事業費合計	千円	1,480	1,484	1,396	1,530		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
伊達市文化団体連絡協議会への加盟団体数	団体	実績値が目標値以上となること	目標値	176	170	165	160	160
			実績値	165	112			
			達成率	93.8%	65.9%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	市民の文化芸術活動を支援する上で必要となる
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	文化団体会員については固定化している傾向が認められ、世代を超えた活動の活性化が必要となる
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	文化団体連絡協議会の活動内容を踏まえ補助内容についても精査を行った

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	市内文化団体の活動概要の把握を更に行い、活動の活性化を図る必要がある。
--------	----	-------------------------	-------------------------------------

整理番号
145

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	ふるさと会館施設運営事業（再掲）				担当課	生涯学習課		
業務名	ふるさと会館施設運営事業				担当係	歴史文化まちづくり係		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	5	歴史・文化財・芸術文化			事業区分	直営		
主な取組	2	芸術文化の鑑賞機会と発表機会の充実			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	10	5	5	ふるさと会館施設運営事業			

目的と方針【PLAN】
心豊かな市民生活の実現と貴重な地域の歴史文化を活かしたまちづくりに向け、市民主体の芸術文化活動の活発化の促進、有形・無形の文化財の保存・活用を図ります。

事業概要【PLAN】
市民の教養向上・生活文化の振興及び地域活性化を目指し、地域文化の振興に寄与するため、ふるさと会館の適切な維持管理を行います。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市民の教養向上・生活文化の振興、地域活性化
-----------------	----	-----------------	-----------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
地域文化の振興に寄与するためのふるさと会館の適切な維持管理

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	13,788	4,722	71,890	24,904		
	一般財源	千円	19,466	25,928	28,237	31,321		
	事業費合計	千円	33,254	30,650	100,127	56,225		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
ふるさと会館の利用者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	34,000	34,000	34,000	34,000	35,000
			実績値	33,947	31,572			
			達成率	99.8%	92.9%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	市内唯一の文化ホールとして地域における芸術文化の振興に貢献している。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	施設長寿命化のための改修工事に伴い一部休館期間を設けたこともあり利用者数は目標値を下回ったが、施設利用可能年数を延伸することができた。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	維持管理体制見直しの検討を継続している。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	持続可能な運営体制を構築するために指定管理や業務委託の導入を検討する必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
146

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	美術館管理運営事業（再掲）				担当課	生涯学習課		
業務名	美術館管理運営事業				担当係	歴史文化まちづくり係		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	5	歴史・文化財・芸術文化			事業区分	直営		
主な取組	2	芸術文化の鑑賞機会と発表機会の充実			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	10	5	6	美術館管理運営事業			

目的と方針【PLAN】
心豊かな市民生活の実現と貴重な地域の歴史文化を活かしたまちづくりに向け、市民主体の芸術文化活動の活発化の促進、有形・無形の文化財の保存・活用を図ります。

事業概要【PLAN】
市民に芸術文化へ親しむ場を提供するため美術館の適切な管理運営を行い、市民ギャラリー等を活用して自主企画展を開催します。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	芸術文化に親しむ場の提供
-----------------	----	-----------------	--------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
美術館の適切な管理運営、市民ギャラリーを活用した自主企画展の開催

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	2,717	2,623	3,609	1,909		
	一般財源	千円	16,955	17,577	18,573	20,407		
	事業費合計	千円	19,672	20,200	22,182	22,316		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
梁川美術館の観覧者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	11,000	11,000	12,000	12,000	13,000
			実績値	7,051	7,051			
			達成率	64.1%	64.1%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	市内唯一の美術館として市民へ芸術文化に親しむ場を提供している
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	郷土ゆかりの作家の展示を中心に地域に根差した企画展を実施し、一般にもより親しみやすい運営を行った。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	資料運搬、ポスター・チラシ印刷を自前で行うなど工夫を行っている

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	小規模な地方美術館としての特性を生かし、他美術館と差別化、より地域に根差した特色ある運営を行う必要がある。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
147

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	ふるさと会館施設運営事業（再掲）				担当課	生涯学習課		
業務名	ふるさと会館施設運営事業				担当係	歴史文化まちづくり係		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	5	歴史・文化財・芸術文化			事業区分	直営		
主な取組	3	文化施設の整備充実			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	10	5	5	ふるさと会館施設運営事業			

目的と方針【PLAN】
心豊かな市民生活の実現と貴重な地域の歴史文化を活かしたまちづくりに向け、市民主体の芸術文化活動の活発化の促進、有形・無形の文化財の保存・活用を図ります。

事業概要【PLAN】
伊達市ふるさと会館の老朽化の状況や利用者のニーズを踏まえ、計画的な修繕を行い、適切な維持管理を図ります。

対象【PLAN】	ふるさと会館	意図【PLAN】	施設・設備の改修・修繕
-----------------	--------	-----------------	-------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
中長期的視点に立った改修計画の策定

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	13,788	4,722	71,890	24,904		
	一般財源	千円	19,466	25,928	28,237	31,321		
	事業費合計	千円	33,254	30,650	100,127	56,225		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
ふるさと会館施設の未修繕箇所数	箇所	実績値が目標値以下となること	目標値	10	8	4	2	0
			実績値	11	10			
			達成率	90.9%	80.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	市内唯一の文化ホールとして地域における芸術文化の振興に貢献している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	施設長寿命化のための改修工事に伴い一部休館期間を設けたこともあり利用者数は目標値を下回ったが、施設利用可能年数を延伸することができた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	保守点検結果等により現状を分析し適切な修繕を実施した

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	安全確保、文化ホールとしての価値の向上、利便性向上などの観点から優先順位付けを行い長期的な改修計画案を策定する必要がある。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
148

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	美術館管理運営事業（再掲）				担当課	生涯学習課		
業務名	美術館管理運営事業				担当係	歴史文化まちづくり係		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	5	歴史・文化財・芸術文化			事業区分	直営		
主な取組	3	文化施設の整備充実			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	10	5	6	美術館管理運営事業			

目的と方針【PLAN】
心豊かな市民生活の実現と貴重な地域の歴史文化を活かしたまちづくりに向け、市民主体の芸術文化活動の活発化の促進、有形・無形の文化財の保存・活用を図ります。

事業概要【PLAN】
伊達市梁川美術館の老朽化の状況や利用者のニーズを踏まえ、計画的な修繕を行い、適切な維持管理を図ります。

対象【PLAN】	梁川美術館	意図【PLAN】	老朽化・経年劣化の状況の把握
-----------------	-------	-----------------	----------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
計画的な修繕による適切な維持管理

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	2,717	2,623	3,609	1,909		
	一般財源	千円	16,955	17,577	18,573	20,407		
	事業費合計	千円	19,672	20,200	22,182	22,316		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
美術館施設の未修繕箇所数	箇所	実績値が目標値以下となること	目標値	17	14	11	5	0
			実績値	18	17			
			達成率	94.4%	82.4%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	市内唯一の美術館として市民へ芸術文化に親しむ場を提供している
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	施設長寿命化のため一部の修理工事を行った。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	保守点検結果等により現状を分析し適切な修繕を実施した

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	安全確保、美術館としての価値の向上、利便性向上などの観点から優先順位付けを行い長期的な改修計画案を策定する必要がある。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
149

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	文化財保護事業				担当課	生涯学習課		
業務名	-				担当係	歴史文化まちづくり係		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	5	歴史・文化財・芸術文化			事業区分	直営		
主な取組	4	文化財の保存・活用			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	10	5	3	文化財保護事業			

目的と方針【PLAN】
心豊かな市民生活の実現と貴重な地域の歴史文化を活かしたまちづくりに向け、市民主体の芸術文化活動の活発化の促進、有形・無形の文化財の保存・活用を図ります。

事業概要【PLAN】
市内に所在する指定文化財の適切な保存を図り、周知および活用を図ります。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市固有の歴史や文化を象徴する指定文化財が適切に維持保存されている。
-----------------	----	-----------------	-----------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
文化財保存に必要な保管施設を維持する。未整理文化財は整理作業を進め、調査研究や展示などの活用ができる状態とする。破損した文化財は適切に修理する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	22,427	26,239	22,018	14,792		
	事業費合計	千円	22,427	26,239	22,018	14,792		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
指定文化財リストの件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	-	-	1	2	2
			実績値	-	-			
			達成率	-	-			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	指定文化財の維持保存は法令で定められた行政の責務である。文化財所有者だけで保存を担うのは困難な場合もあり、行政の支援は欠かせない。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	指定文化財の適切な維持保存は市固有の歴史・文化の継承につながっている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	文化財整理業務の効率を上げるため作業の一部を市民団体へ委託している。作業の委託は文化財専門分野に造詣のある市民の育成にもつながっている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	被災文化財の修理・整理は終了したが、経年劣化の著しい文化財もあり、修理を継続して行う必要がある。また、未整理文化財も多数あるため、整理作業を継続する必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
150

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	史跡整備保存活用事業				担当課	生涯学習課		
業務名	-				担当係	歴史文化まちづくり係		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	5	歴史・文化財・芸術文化			事業区分	直営		
主な取組	4	文化財の保存・活用			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	10	5	3	史跡整備保存活用事業			

目的と方針【PLAN】
心豊かな市民生活の実現と貴重な地域の歴史文化を活かしたまちづくりに向け、市民主体の芸術文化活動の活発化の促進、有形・無形の文化財の保存・活用を図ります。

事業概要【PLAN】
市内に所在する国・県指定史跡について、適切な保存を図り、併せて周知、活用を図ります。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	史跡を通じて市民が郷土の歴史文化に対する知識を深め誇りを持てるようになる
-----------------	----	-----------------	--------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
国・県指定史跡を適切に保存し次世代に継承する。史跡により親しみを持てるよう分かりやすい説明表示やガイドダンス施設の建設など整備を行う。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	1,650	3,600	5,000		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	2,266	2,042	4,069	14,621		
	事業費合計	千円	2,266	3,692	7,669	19,621		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
計画の策定件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	1	2	2	2	2
			実績値	0	2			
			達成率	0.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	指定文化財の維持保存は法令で定められた行政の責務である。伊達氏関連史跡は市を代表する文化財で市民の関心も高く、より早い整備が求められている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	整備後の史跡は歴史観光の拠点ともなり経済活動や地域の活性化にもつながる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	国補助を活用し業務の一部を外部委託とした。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	史跡の活用では市民ボランティアの協力は不可欠である。市民ニーズの把握に努め整備計画に反映すると並行し、整備後のスムーズな運営に向け、昨年度に引き続き協力体制の構築を継続して行う必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
151

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	歴史を活用した地域創生事業			担当課	生涯学習課
業務名	-			担当係	歴史文化まちづくり係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		計画期間	令和6年度 ~ 令和6年度
施策項目	5	歴史・文化財・芸術文化		事業区分	直営
主な取組	5	文化財収蔵公開施設の整備		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	10	5	3 歴史を活用した地域創生事業	

目的と方針【PLAN】
心豊かな市民生活の実現と貴重な地域の歴史文化を活かしたまちづくりに向け、市民主体の芸術文化活動の活発化の促進、有形・無形の文化財の保存・活用を図ります。

事業概要【PLAN】
市内の文化財を保存、活用し、市内外に広く公開するための拠点として梁川総合支所4階を展示室に改修します。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市有文化財を適切に管理し、市民が市の特色ある歴史や文化にふれることができるよう文化財の公開や活用などの各種事業へ展開させる。
-----------------	----	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市有文化財を適切に保存管理する文化財収蔵施設を整備する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	24,700	29,400	0	0		
	その他	千円	1,300	1,600	21,241	0		
	一般財源	千円	198	198	0	0		
事業費合計		千円	26,198	31,198	21,241			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
資料収蔵施設の整備件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	-	1	1	1	1
			実績値	-	1			
			達成率	-	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	文化財の散逸を防ぎ、調査研究や公開活用に資するためにも収蔵スペースの不足は喫緊の課題であった。収蔵施設を整備したことで当面の課題が解消された。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	収蔵施設が整備され適切な管理ができるようになり、資料を活用できる体制が整った。これにより調査研究や展示など活用の幅も広がり、市の歴史や文化をより広く伝えることができるようになった。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	既存施設を再利用し、改修範囲も最低限にとどめ経費節減に努めた。梁川総合支所4階の改修計画を見直した。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	終了・完了	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	文化財保存施設が完成し維持保存の体制が概ね整った。今後は、別事業の中で、これらを活用しながら文化財に関心の高い市民層を拡大していくことが必要となる。
--------	-------	-------------------------	--